

Real Wine Guide

リアルな視点と本音で綴る、
ワインガイド

リアルワインガイド

本体価格 1,714 Yen (税別) 2020 冬 第68号

68²⁰²⁰
winter



3000円以下の本音について
2019年 旨安ワイン

 <p>シルバー カベルネ・ソーヴィニヨン '16</p> <p>オープン価格 (3,080 円前後)</p>	<p>今飲んで 87+ ポテンシャル 88+ 飲み頃予想 今~2038</p> <p>香りにも味わいにも目立つのはハーブ系の風味。でもそこに樽からのクリーミーさが加わると、上手い具合に中和されて、なんともまとまりの良い味わいへとようになっていく。今はまだタンニンに粗さがあるが、果実味は豊かだし液体には円みも感じられるので、時間とともに優しい表情を見せてくれるはず。今から飲めるけれど、できればあと1~2年は待つことをオススメ。(19年9月試飲)</p>
 <p>ゼーレ オオハサマメルロー 樽熟成 '16</p> <p>オープン価格 (3,960 円前後)</p>	<p>今飲んで 89 ポテンシャル 90 飲み頃予想 今~2040</p> <p>「ハヤチネゼーレ」のハヤチネ(早池峰)がワイン法の改正に伴い名乗れなくなったため、ゼーレに改名。名前は変わっても、品質は相変わらず高いままなのでご心配なく。濃いけれど、華やかさに溢れた芳香。飲み心地はしっとり滑らかで、そこがシルバースリーズと大きく違うところのひとつ。さすがの存在感です。すべてが丸くまとまっていて、味わいバランスも絶妙。もう安定の高品質ぶり、これがこの価格で買えるのは嬉しい限り。(19年9月試飲)</p>
 <p>ゼーレ オオハサマラタイ 樽熟成 '16</p> <p>オープン価格 (3,960 円前後)</p>	<p>今飲んで 89 ポテンシャル 90 飲み頃予想 2022~2042</p> <p>ラタイはオーストリア原産の品種らしいが、個人的には初めて聞く品種名。それにしても、エーデルは珍しい品種をたくさん栽培しているなあ。色合いはどこをどう切っても真っ黒で、香りにはコショウのようなスパイシーさが漂う。口にすると思像よりも遥かに軽やかで、ちょっと驚くほど。液体の質感も滑らかだし、タンニンが多いわりには酸しさもない。ただ、味わいはまだ本領発揮とまではいかず、最低でも3年は待ちたい。将来的にどんな味わいに育つのか、興味津々。(19年9月試飲)</p>
 <p>五月長根葡萄園(白) '18</p> <p>2,285 円</p>	<p>今飲んで 87 ポテンシャル 87+ 飲み頃予想 今~2033</p> <p>ほのかに甘くてコクのある香り。以前に比べるとだいぶ甘みが抑えられ、辛口になったなあという印象だけど、造りはほぼ変えていないとのことなので、きっとこれが2018年ヴィンテージの特徴でもあるのだろう。果実味には厚みがあるが、クリアな酸がしっかりと詰まっているので、例年より立体感が際立つ。味わいバランスはいつものようにとれているので、今年も楽しく飲んじゃってください。(19年9月試飲)</p>
 <p>グリューナー・ヴェルトリーナー(白) '18</p> <p>オープン価格 (2,530 円前後)</p>	<p>今飲んで 87+ ポテンシャル 88 飲み頃予想 今~2033</p> <p>日本でグリューナー・ヴェルトリーナーとは珍しいと思ったら、おそらくエーデルでしか栽培されていないはずと行川さん。すっきりと清らかで涼し気な香りがなんとも魅力的。心地よいほろ苦さと強めの酸が、果実の甘みとバランス良く混ざり合い、とても上手にまとまっている。ここのワイナリーの白ワインはやや平板なものが多いように感じるが、これはメリハリがくっきりついている。新たな看板ワインの登場か?! (19年9月試飲)</p>
 <p>フラン・フランスパークリングワイン '18</p> <p>オープン価格 (2,200 円前後)</p>	<p>今飲んで 87+ ポテンシャル 87+ 飲み頃予想 今~2028</p> <p>カベルネ・フランから造られる、白の泡モノ。爽やかでスッキリとした香りから想像する通りの、キリッと辛口のキレの良い味わい。ものすごく清らかで、ひたすらドライ。後口に残るほろ苦さも心地よく、スルスルと飲めちゃうのがこれまた魅力的。少し時間をおくとニゴリの中からうま味の素が顔を出してくれるので、温度高めで飲むのも楽しいかも。(19年9月試飲)</p>

カーブドッチワイナリー (新潟県・新潟市)



毎年書いてある気がするが、いつ訪れてもこのワイナリーには人が溢れている。しかし、こうやってワイナリーを訪れた人たちが、気軽にワインを楽しんでいる姿を見るのは実に幸せだ。ここで飲んだワインが美味しければ、家庭でワインを楽しむ人が増えて、さらに日本のワイン人口が増える。そういった意味でもこのワイナリーの果たす役割は大きい。

そんなカーブドッチでワイン造りを担っているのが掛川史人さんで、彼がワイン造りに携わるようになってから、ここのワインの品質は大きく上がった。久しく、カーブドッチのワインを飲んでいないという方、何でもよいのでぜひ飲んでみてください。その変化にきっと驚くはず。さて、そんな掛川さんが2018年に新たに造ったのが「Funppy」という名のロゼワイン。生食用のブドウを数種ブレンドしたもので、気軽に飲めるけれどきちんと美味しいというスタイル。しかも価格も魅力的。こういったワインが、ワイン飲みの裾野を広げていくのです。

 <p>カベルネ・ドルサ カベルネ・ミトス '18</p> <p>価格未定 (4,000 円くらい)</p>	<p>今飲んで 89 ポテンシャル 90 飲み頃予想 今~2038</p> <p>北海道余市のブドウから造られるこのワイン。しっとりとした落ち着いた深みを湛えた、メリハリのある香り。色合いは濃いけれど飲み心地は優しくて、しんわりと滑らか。とにかくこのワインのキモは酸で、その酸がスタイルの良さと上質感を与えている。それにしてもエレガント。濃いけれど優雅。味わいバランスも絶妙で、なんと今からでも美味しく飲めちゃうという嬉しさです。(19年9月試飲)</p>
 <p>ピノ・ノワール '16</p> <p>5,060 円</p>	<p>今飲んで 88+ ポテンシャル 89 飲み頃予想 今~2033</p> <p>この2016年ものが最新ヴィンテージだが、掛川さん的には「出来ればピノは7年くらい寝かせてからリリースしたいのが本望」とのこと。ほのかな苦みが優しい赤果実と共にやんわりと顔を出す。液体にスキ感はなく、目もしっかり詰まっている。少し酸化香があるのと、時間とともに苦みが強まるのは惜しいけれど、バランスよく美味しくまとまっている。ピノ・ノワールは毎年少しずつ造りを変えていて、この16年は約30%全房発酵したもの。(19年9月試飲)</p>
 <p>サブル(赤) '17</p> <p>5,500 円</p>	<p>今飲んで 89+ ポテンシャル 90+ 飲み頃予想 今~2038</p> <p>この17年ヴィンテージからカベルネ・ソーヴィニヨン、メルロ、プティ・ヴェルドに加えて、カベルネ・フランとマルベックも加わるようになった、赤のフラッグシップ。しっとり滑らかな黒果実の香り。味わいはすでに調和しているが、底にはパワーとタンニンが潜んでいる。これらがキレイに馴染んだ時がこのワインの魅力を最高に楽しめるタイミングだと思うが、今でも十分美味しいのが嬉しいところ。味わいバランスも抜群の高品質ワインです。(19年9月試飲)</p>
 <p>Funppy (ファンビー・ロゼ) '18</p> <p>2,090 円</p>	<p>今飲んで 88 ポテンシャル 88 飲み頃予想 今~2028</p> <p>FunとHappyを掛け合わせてファンビー。なんともウキウキ度の高い名前だけど、味わいも負けじとウキウキしている。スチューベンを主体にその他色々な品種が入った、いわゆるまぜこぜワイン。軽やかながらも本格的な味わいで、酸の効いたベリー風味はひたすらジューシー。何も考えずにスルスルと飲んで、だけどきちんと美味しい。これぞデイリーワインの鑑! っていうもの。みんなでグイグイ飲みましょう。(19年9月試飲)</p>

	うみがめ(白) '18	今飲んで 88+ ポテンシャル 88+ 飲み頃予想 今~2033
Cave d'Occhi	3,520円	ソーヴィニヨン・ブランから造られるワインで、この2018年が初ヴィンテージ。爽やかさの中にナチュラルワインの香気があるが、ネガティブさは全くない。ほんのり甘くて親しみやすさ満点の味わいで、途中から出て来るほろ苦さがなんと心地よい。酸はそれほど強くないけれどバランス良くまとまっていて、味つきもしっかり。そんなワケで文句なしの美味しさです。(19年9月試飲)
	アルバリーニョ(白) '18	今飲んで 89+ ポテンシャル 90 飲み頃予想 今~2035
Albariño	4,620円	フルーティでいて芳醇。爽やかさの中に果実味の豊かさを感じられ、そこに心地よいほろ苦さと酸が加わる。そこには少しのミネラル感もあって、そのおかげで締まるべきところが締まった抜群のスタイルの良さを楽しめる。これはとても魅力的なアルバリーニョで、何より美味しい。しかも品質も高い。角田浜とアルバリーニョの相性の良さがよくわかる一本。(19年9月試飲)
	サブル(白) '18	今飲んで 90 ポテンシャル 90+ 飲み頃予想 今~2035
SABLE	5,500円	アルバリーニョを主体にリースリング、セミヨンブレンド。ちなみに、2019年ヴィンテージからはそこにヴィオニエが加わる予定。口にしたとたんに、やんわりとした液体が円みを帯びながらゆっくりと広がっていく。味わいはまだしっかりと馴染んではいないが、各要素がバランスよく盛られていて、味わいの幅が広いという印象。さすがカーブドッチのフラッグシップという風格を持つ、高品質なワインです。(19年9月試飲)
	むささび(ブラン・ド・ノワール) '18	今飲んで 89 ポテンシャル 89 飲み頃予想 今~2030
Cave d'Occhi	3,520円	おなじみ、カベルネ・ソーヴィニヨンから造られる白のスパークリング。やんわりとナチュラルな果実味と、程よいプチプチ感がなんとも魅力的なこのワイン。青リンゴや白い花、酵母風味がイキイキと口の中を走り回った後に、じんわりと身体に染みこんでいく。すべてがバランス良くまとまっているので、ストレスなくサクサク飲めちゃいます。日々の疲れをそと取り去ってくれそうな優しさに包まれる感じですよ。(19年9月試飲)

Kido ワイナリー (長野県・塩尻市)



厳しかった2016年に、見事に高品質なワインを造りあげた城戸重紀人さん。もちろん、ご自身的には納得のいかない面もあったと思うが、城戸さんのワインはすでにヴィンテージによる優劣の差はなく、あるのはスタイルの差のみ。それは、すでに世界の優良生産者たちと同じラインに立っているということ。この世界品質のワインたちが、もう少し手に入りやすくなるとめちゃ嬉しいが、そうは上手くいかないのが世の常。

さて、そんな城戸さんの2017年。ここ数年の中では良年となり、赤・白ともに質も量もまずまず。2016年はエレガントさが際立つワインが多く、それはそれでかなり魅力的だったが、2017年は城戸さんらしい心地よいパワーがどのワインにも宿っている。そして、味わいに感じる調和感。これだけ各要素の個の力と質が高いのに、見事にまとまり、しかも上質感すら漂う。これぞ城戸さんにしか表現できないスタイルで、それはすでに確立されている。しかし、そこで止まることなく更なる高みを目指しているからこそ、毎年進化しているのだ。スゴイです。

	城戸プライベートリザーブ フラワー '17	今飲んで 90 ポテンシャル 91 飲み頃予想 今~2040
Private Reserve	4,070円	カベルネ・フラン66%、メルロ34%のフラワーは、香りからして品の良さに溢れている。口にするときは酸、そしてその後には柔らかい果実味。エレガントさに溢れているけれど、同時に心地よいパワーも兼ね備えていて、そのバランスが実に絶妙。すでにタンニンもきれいに馴染んでいるし、味わいも調和している。ブドウが完熟していることがよくわかる充実ぶり、今年もシミジミと美味しい。そして余韻も長い。(19年9月試飲)
	城戸プライベートリザーブ ピノ・ノワール '17	今飲んで 90 ポテンシャル 90+ 飲み頃予想 今~2033
Private Reserve	4,400円	全くスキ感のない、誠実なピノ香。ピュアな赤果実とキリリとした表情の酸。それらが透明感たっぷりの液体の中で優美に踊っているような印象。この年はブドウの70%ほどを全房発酵したとのことで、その成果もあるのかフレッシュ感が際立っている。味わいにはすでに調和感があり、うま味の粒もミネラルもしっかり。そしてそれらを引き立てているのが、緊張感のある美しい酸。2017年も見事な国際品質に仕上がっている。(19年9月試飲)
	城戸プライベートリザーブ ブリリアンス '17	今飲んで 90+ ポテンシャル 91+ 飲み頃予想 今~2043
Private Reserve	4,620円	カベルネ・ソーヴィニヨン76%、メルロ24%のブリリアンス。しっかりと凝縮感のある香りと液体は、上質感漂うしなやかに溢れている。その液体はやや濃いめながら、ミネラルの存在をしっかりと感ずることが出来、エキスもキレイに引き出されている。これぞ城戸さんしか出せないパワーエレガンスぶり。エキスが濃い、うま味も濃、大切なものが全て濃いのに、重さはどこにもない。なんて見事なスタイルであり美味しさなのだろうと、うっとりするばかり。(19年9月試飲)
	城戸プライベートリザーブ メドウズ '17	今飲んで 91 ポテンシャル 92 飲み頃予想 今~2043
Private Reserve	5,500円	メルロ主体でほんの少しカベルネ・ソーヴィニヨンが入っているメドウズ。しっとりとした大地の香り。果実の甘みをほのかに感じる液体は、柔らかいけれど実に緻密。キメ細かいタンニンがみっちり詰まっているが、重さも渋さも粗暴さもなく、とてもスタイリッシュでいながら温かい。さすがにミネラルは隠れ気味だけど、きちんと下支えしてくれているし、味わいはすでに調和している。前のワインの高品質ぶりに驚いたばかりだけど、このワインにはさらにその上をいく存在感と風格がある。(19年9月試飲)
	城戸プライベートリザーブ シャルドネ(白) '17	今飲んで 90 ポテンシャル 91 飲み頃予想 今~2038
Private Reserve	3,960円	うっとりするほど美しく、呆れるほどクリアな香りと味わい。それほど透明感たっぷりなのに、その味わいは複雑で奥深く、実に多彩な表情を持っている。果実味とミネラルと酸のバランスも絶妙で、すでに調和感が漂うほど。は、今年も美味しいです。高品質です。だけど、2016年ヴィンテージより価格が100円下がっている。それは16年のほうが品質が高かったから、と城戸さん。もちろん16年は史上最高の仕上がりがあったが、この17年だって十分すぎるほどの品質です。(19年9月試飲)
	城戸プライベートリザーブ ピノ・グリ(白) '17	今飲んで 90+ ポテンシャル 91+ 飲み頃予想 今~2038
Private Reserve	4,070円	控えめに言っても、かなりの高品質。口にした瞬間にボリュームのある液体がマルッと丸まり、それが時間とともにゆるゆると広がっていく。そして、そこにはひたすら透明な世界が広がっている。ブドウから抽出したエキスにはエネルギーが宿っていて、そこからうま味を含んだ複雑な味わいが泉のように湧き出てくる。城戸さんはとりわけナチュラルさにこだわっているわけではないが、このワインの持つエネルギー感にはナチュラルワインに通じるもの。生命力に溢れているのです。(19年9月試飲)
	城戸プライベートリザーブ マスミ・ブラン(白) '17	今飲んで 90 ポテンシャル 91 飲み頃予想 今~2038
Private Reserve	4,290円	この2017年ヴィンテージが初収穫となったゲヴェルツトラミネールを主体に、リースリングとピノ・グリをブレンド。こんなに品の良さに溢れたゲヴェルツトラミネールにはこれまでお目にかかったことがない。清純でピュアでひたすらクリア。でも、味わいにはミネラルからの塩っぽさと酸、そして大量のうま味が感じられて、今すでにかかなり高いレベルでまとまっている。時間とともに果実味がふくらむとより各品種の個性が感じられるようになり、味わいに複雑さが増していく。(19年9月試飲)